

## The 5th CIRP Conference on Industrial Product-Service Systems 2013 参加報告

東京理科大学 木見田康治

2013年3月13日から15日にかけて、国際会議の The 5th CIRP Conference on Industrial Product-Service Systems 2013 (CIRP IPS2 2013) が開催されました。本国際会議は、国際生産加工アカデミー (CIRP) 主催のもと毎年開催されており、今年で5回目を数える。

初日は、本会議初の試みとして、製品サービスシステムに関するビジネスゲームの大会が行われた。本大会では、会議の参加者が実際にビジネスゲームを体験し、ビジネスゲームによる製品サービスシステムの教育について議論を行った。本大会で、行われたビジネスゲームは以下の3種である (括弧内はゲームの開発者)。

- Battleships: Playful Teaching IPS<sup>2</sup> Concept Generation (CRC TR29)
- Holistic: Business Game for Total Lifecycle Management (Prof. Herrmann)
- EDIPS: Edutainment for Designing Integrated Product-Service Systems (Prof. Shimomura)

続いて、会議では、3月14日から15日の2日にわたり計14種のセッションが行われた。14日は、TRUMPF社のKarsten Tonn氏、Cranfield UniversityのJohn Ahmet Erkoyuncu氏によるKeynoteに続き、製品サービスシステムのビジネスモデルや、概念設計、持続可能性と戦略などの計11セッションが行われた。また、同日に行われたConference Dinnerでは、Best paperの発表が行われ、Linköping大学のLindhahl教授と坂尾教授による「Environmental and Economic Contribution of Design Changes in Integrated Product Service Offerings」が同賞を受賞した。15日は、CLAAS社のHans-Peter Grothaus氏、首都大学東京の下村芳樹教授によるKeynoteに続き、ヒューマンファクターや、モデリングとシミュレーション、マーケティングとエコノミクスに関する計3セッションが行われた。

本会議は、今回で5回目を数え、概念的な議論のみならず、具体的な製品サービスシステムに関する事例を取り扱った発表が数多く見受けられた。これらの発表は、製品サービスシステムにおける成功要因やリスクなどを体系化する上で、多くの知見を与えるものである。今後は、製品サービスシステムの事例を事後的に分析することに止まらず、これらの知見を活用して、新たに製品サービスシステムを設計・開発するための技術、方法論に関する発表がより多く行われることが期待される。